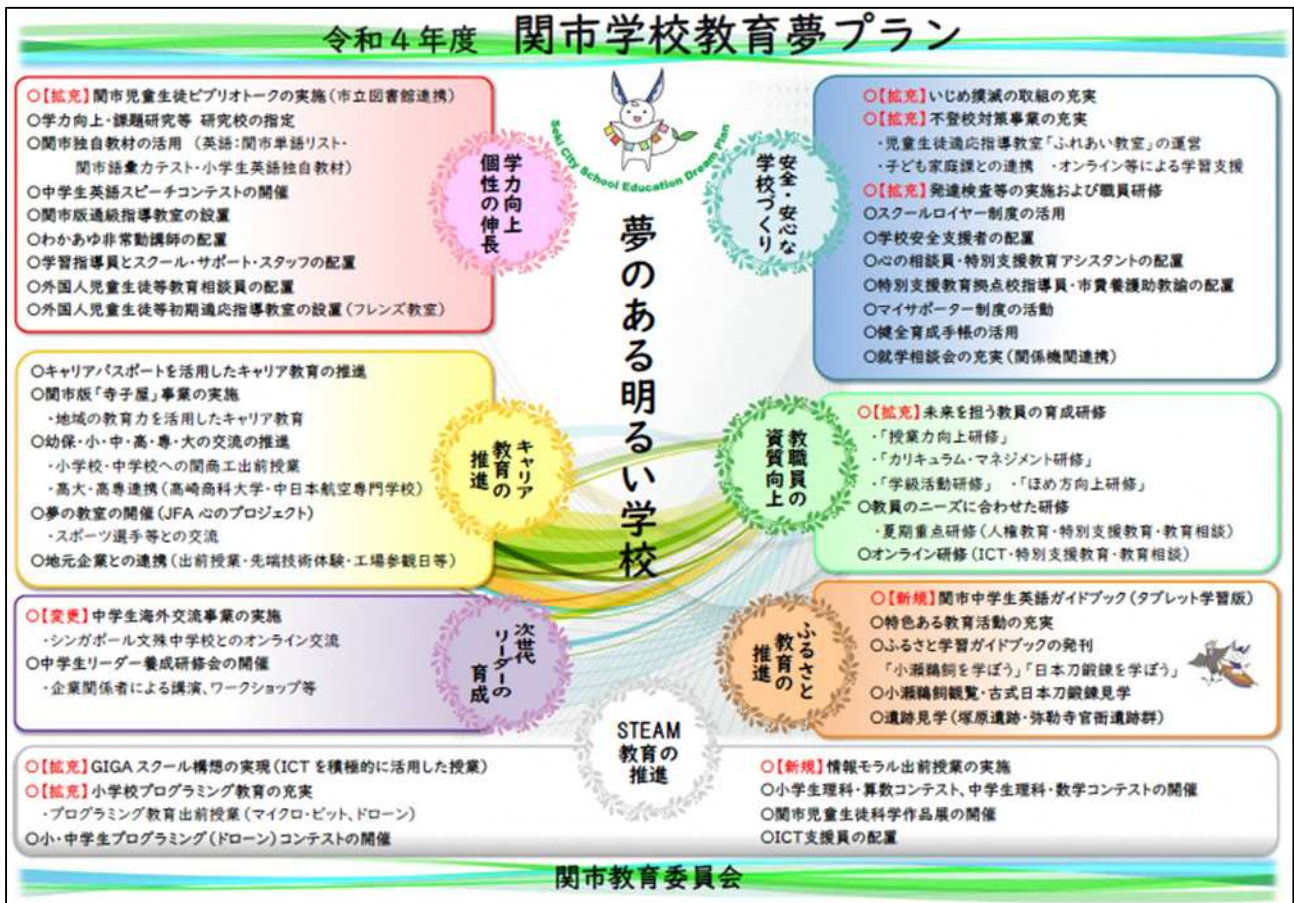


夢のある明るい学校

1 はじめに

関市教育委員会では、平成25年度より「学校教育夢プラン」を展開し、「夢のある明るい学校」をスローガンに、教育活動を推進しています。



2 ふるさと教育の推進【小瀬鶺鴒、日本刀鍛錬】

小学校高学年において、小瀬鶺鴒や日本刀鍛錬などの伝統文化を学んでいます。関市作成の学習用ガイドブック「小瀬鶺鴒を学ぼう」「日本刀鍛錬を学ぼう」を活用し、事前事後の学習を充実させ、「ふるさと関」について系統的に学んでいます。



3 次世代リーダーの育成【中学生海外交流事業】

一人一台端末（iPad）や ICT 環境等を活用し、シンガポール・文殊中学校の生徒と市内中学校の生徒がオンラインで交流します。既習の英語を駆使して、生活や学習の様子を伝え合います。母語が異なる文殊中学校の生徒と、互いに話す英語を通して、様々な情報をやり取りできることは貴重な体験です。どの生徒も、自分の話す英語が相手に伝わったという達成感や伝え合える喜びを味わうことができます。



4 STEAM 教育の推進【小・中学生プログラミング（ドローン）コンテスト】

夏休み中の2日間、小・中学校の代表チームが参加し、規定時間内にミッションを達成できるようにドローンをプログラムします。子どもたちは何度も試行錯誤を繰り返し、プログラムどおりにドローンを飛行させることができると大きな歓声が沸き起こります。プログラミング学習の成果を発揮するとともに、さらなる動機付けの場にもなります。

学校教育課まなびセンターでは、プログラミング教育に係る出前講座を実施しています。その実施回数は年間のべ164回となり、人気の講座です。



5 学力向上、個性の伸長【ビブリオトーク、中学生英語スピーチコンテスト】

3年ぶりに対面形式での実施となりました。

ビブリオトークでは、市内の小中高の児童生徒が、自分のお気に入りの本を紹介し合います。また、スピーチコンテストでは、市内の全中学校から代表生徒が参加し、暗唱とスピーチの2部門で、日頃の英語学習の成果を発揮します。一人一人が思考力・判断力・表現力等を駆使して、自分の考えを自分の言葉で伝えます。



6 おわりに

平成25年度から始まった「学校教育夢プラン」は、本年度、10年という節目を迎えます。児童生徒や教職員にとって、真に必要なものは何かを精査し、今後も「夢のある明るい学校」をスローガンに教育活動を推進していきます。